



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社チノ一 上場取引所 東
 コード番号 6850 URL http://www.chino.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻谷嵩夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役本部長兼社長室長 (氏名) 齊藤卿是 TEL (03) 3956-2115
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,727	△10.4	107	△83.1	242	△60.9	41	△80.4
24年3月期第3四半期	13,088	17.4	634	115.1	620	165.4	213	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 188百万円 (35.8%) 24年3月期第3四半期 138百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.00	—
24年3月期第3四半期	4.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,679	13,368	61.5
24年3月期	20,946	13,433	61.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,723百万円 24年3月期 12,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△1.2	540	△32.9	620	△26.1	310	11.2	7.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）株式会社山形テノー
（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無
- （注）「四半期連結財務諸表の用語、株式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	47,800,580株	24年3月期	47,800,580株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	5,564,514株	24年3月期	5,870,896株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	42,076,248株	24年3月期3Q	42,933,101株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
(1) 生産実績	11
(2) 受注実績	11
(3) 販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、秋以降ようやく為替が円安方面に向い株価が上昇するなど明るさが見えてまいりましたが、通期といたしましては円高基調が続いたうえ欧州の金融不安や日中関係の悪化等も加わり外需が伸び悩むなど、総じて厳しい状況が続き、企業の設備投資も抑制傾向が続きました。

このような経営環境のもとで、当社は社内改革とグループの再編を進め、本年4月に(株)山形チノーを当社の事業所として統合、これにより藤岡事業所、久喜事業所との分業体制を整えて国内における生産体制の再編はほぼ完了しました。

なお、山形事業所を新エネルギー、環境、安全、安心といった分野の新市場開拓を進める中核と位置づけ同事業所の用地に植物工場の実証ハウスを建設し、また、太陽光発電設備の設置も進めております。

一方、販売面では東北地区の復興に資するため、仙台営業所を拡張、増員し、南九州にも新たなサービス拠点を設置して、営業と連携して活動する体制を整えました。

海外展開につきましては、成長著しいアセアン地区の拠点としてタイに現地法人CHINO (Thailand) Co., Ltd.を設立し、タイ及び周辺諸国の需要拡大を図るべく営業活動を開始しました。

また、中国は、「上海大華一千野儀表有限公司」「千野測控設備(昆山)有限公司」の現地法人2社がありますが、平成25年6月の合弁期間満了を期に、前者は生産事業をやめて販売会社として体制強化を図り、後者を機器の生産と計装システムの海外供給拠点とするべく再編を進めております。

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は11,727百万円(前年同四半期比10.4%減)となりました。利益面につきましては営業利益は107百万円(前年同四半期比83.1%減)、経常利益は242百万円(前年同四半期比60.9%減)、四半期純利益は41百万円(前年同四半期比80.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①計測制御機器

売上高は5,123百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益(営業利益)は880百万円(前年同期比0.7%減)であります。

②計装システム

売上高は3,181百万円(前年同期比27.8%減)、セグメント損失(営業損失)は5百万円(前年同期は営業利益382百万円)であります。

③センサ

売上高は2,765百万円(前年同期比7.8%減)、セグメント利益(営業利益)は246百万円(前年同期比40.2%減)であります。

④その他

修理・サービス等の売上高は658百万円(前年同期比4.4%減)で、セグメント利益(営業利益)は17百万円(前年同期比83.4%減)であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ668百万円減少し、13,722百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加1,054百万円、受取手形及び売掛金の減少1,320百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ401百万円増加し、6,956百万円となりました。このうち有形固定資産は66百万円増となりました。投資その他の資産は投資有価証券の増加293百万円がありました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ160百万円減少し、5,288百万円となりました。主な減少要因は支払手形及び買掛金の減少237百万円等であります。

固定負債は、長期借入金等の減少があり前連結会計年度末に比べ41百万円減少し2,022百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、13,368百万円となりました。剰余金の配当300百万円による減少等の結果であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、平成24年11月6日に公表いたしました業績予想通りであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

株式会社山形チノは平成24年4月1日付で当社を存続会社とした吸収合併により、第1四半期連結会計期間から連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,543,050	3,838,633
受取手形及び売掛金	5,659,336	4,339,080
有価証券	—	99,906
商品及び製品	969,013	1,208,400
仕掛品	933,845	1,491,342
原材料及び貯蔵品	1,727,099	1,984,569
その他	565,016	766,421
貸倒引当金	△6,470	△6,270
流動資産合計	14,390,891	13,722,085
固定資産		
有形固定資産	3,542,304	3,608,522
無形固定資産		
のれん	222,846	200,092
その他	337,311	463,773
無形固定資産合計	560,158	663,865
投資その他の資産		
その他	2,453,187	2,684,602
貸倒引当金	△1	△2
投資その他の資産合計	2,453,186	2,684,600
固定資産合計	6,555,648	6,956,989
資産合計	20,946,540	20,679,075
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,312,251	3,075,190
短期借入金	858,951	830,930
未払法人税等	113,100	140,072
賞与引当金	414,118	209,989
役員賞与引当金	12,000	—
その他	738,486	1,032,282
流動負債合計	5,448,909	5,288,465
固定負債		
長期借入金	270,440	179,942
退職給付引当金	1,378,140	1,393,558
役員退職慰労引当金	175,369	200,343
その他	239,792	248,305
固定負債合計	2,063,741	2,022,148
負債合計	7,512,651	7,310,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,072,140	4,072,140
利益剰余金	6,345,269	6,082,258
自己株式	△1,694,336	△1,621,750
株主資本合計	13,015,101	12,824,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,415	△27,605
為替換算調整勘定	△149,851	△73,150
その他の包括利益累計額合計	△153,267	△100,756
少数株主持分	572,054	644,540
純資産合計	13,433,888	13,368,460
負債純資産合計	20,946,540	20,679,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	13,088,628	11,727,673
売上原価	8,848,198	8,270,322
売上総利益	4,240,430	3,457,351
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,566,625	1,472,063
賞与引当金繰入額	97,442	98,767
退職給付費用	104,123	107,516
役員退職慰労引当金繰入額	40,968	34,974
研究開発費	366,371	272,702
貸倒引当金繰入額	855	290
その他	1,430,001	1,363,574
販売費及び一般管理費合計	3,606,388	3,349,889
営業利益	634,042	107,462
営業外収益		
受取利息	27,699	27,643
受取配当金	18,464	19,981
保険返戻金	—	41,276
為替差益	—	46,555
その他	43,328	38,308
営業外収益合計	89,492	173,765
営業外費用		
支払利息	8,023	8,852
金融関係手数料	8,692	9,978
為替差損	57,350	—
その他	29,401	20,195
営業外費用合計	103,468	39,026
経常利益	620,065	242,201
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,762
投資有価証券償還益	7,636	—
固定資産売却益	183	376
その他	697	—
特別利益合計	8,517	4,139
特別損失		
固定資産処分損	74,794	3,332
出資金評価損	—	4,999
退職給付制度終了損	27,592	—
その他	12,640	499
特別損失合計	115,026	8,831
税金等調整前四半期純利益	513,556	237,509

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
法人税等	243,216	152,969
少数株主損益調整前四半期純利益	270,340	84,540
少数株主利益	56,792	42,585
四半期純利益	213,547	41,955

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	270,340	84,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,602	△24,189
為替換算調整勘定	△100,903	128,129
その他の包括利益合計	△131,506	103,939
四半期包括利益	138,833	188,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,490	94,466
少数株主に係る四半期包括利益	△79,656	94,013

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,997,266	4,403,997	2,998,881	12,400,144	688,484	13,088,628
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,997,266	4,403,997	2,998,881	12,400,144	688,484	13,088,628
セグメント利益	887,084	382,465	411,682	1,681,231	102,636	1,783,870

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,681,231
「その他」の区分の利益	102,636
全社費用(注)	△1,149,828
四半期連結損益計算書の営業利益	634,042

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機 器	計 装 シ ス テ ム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,123,049	3,181,399	2,765,108	11,069,558	658,115	11,727,673
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,123,049	3,181,399	2,765,108	11,069,558	658,115	11,727,673
セグメント利益又は損失 (△)	880,867	△5,535	246,011	1,121,343	17,050	1,138,394

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおり
ます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,121,343
「その他」の区分の利益	17,050
全社費用 (注)	△1,030,932
四半期連結損益計算書の営業利益	107,462

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1
四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づ
く減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更してい
ます。

これによるセグメント損益への影響は軽微であります。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	5,324,681	△0.8
計装システム	2,542,266	△29.2
センサ	2,443,316	△7.0
その他	286,535	+11.9
合計	10,596,799	△10.5

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、見込販売価額で示してあります。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	5,122,767	+2.7	501,665	△17.0
計装システム	4,241,493	△9.3	2,911,984	+37.7
センサ	2,922,235	△3.7	578,339	+17.4
その他	650,530	△3.6	82,575	+0.2
合計	12,937,027	△3.3	4,074,563	+23.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	5,123,049	+2.5
計装システム	3,181,399	△27.8
センサ	2,765,108	△7.8
その他	658,115	△4.4
合計	11,727,673	△10.4

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。